



# 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 日本製鋼所  
コード番号 5631 URL <http://www.isw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 育男  
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 中西 正典  
四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日

TEL 03-5745-2001  
平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	94,183	11.5	3,672	54.0	4,843	64.5	△7,349	—
26年3月期第2四半期	84,482	△21.4	2,384	△70.9	2,944	△64.6	1,779	△36.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △6,218百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 6,462百万円 (534.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△19.85	—
26年3月期第2四半期	4.80	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	298,762	132,048	43.7
26年3月期	293,139	139,268	47.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 130,481百万円 26年3月期 138,050百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	6.0	7,500	△15.4	8,500	△12.4	△4,500	—	△12.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	371,463,036 株	26年3月期	371,463,036 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,191,038 株	26年3月期	1,189,350 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	370,273,403 株	26年3月期2Q	370,829,286 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報に基づき当社が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、平成26年11月14日(金)に証券アナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。内容につきましては、当日使用する決算説明資料を、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8
4. 補足情報	9
受注高、売上高及び受注残高の状況	
(1) 受注高	9
(2) 売上高	9
(3) 受注残高	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における海外経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな景気回復が続きました。米国では個人消費が堅調に推移するなど、緩やかに景気が回復し、欧州では、地政学的リスクの高まりの影響はあるものの、全体として景気持ち直しの動きが継続しました。中国では、不動産開発投資の減速等により、景気の拡大テンポは緩やかなものとなりました。一方、わが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響はあったものの、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「利益・効率の向上と売上規模の追求」ならびに「資産の効率化と高収益化」を目標に据え、事業活動を推進してまいりました。

当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は、主に素形材・エネルギー事業の増加により、1,018億66百万円（前年同期比13.4%増）となりました。素形材・エネルギー事業において、原子力製品需要の本格回復の遅れを補うための各種戦略を進めておりますが、クラッド鋼管で受注を拡大することができました。加えて、産業機械事業においても、樹脂製造・加工機械の大型化に対応した案件の受注、成形機の自動車分野における受注拡大など、今後の事業展開に意義ある案件を受注することができました。

売上高は、主に素形材・エネルギー事業の増加により、941億83百万円（前年同期比11.5%増）となりました。これにより、営業利益は36億72百万円（同54.0%増）、経常利益は48億43百万円（同64.5%増）となりましたが、四半期純損益は、風力事業損失引当金繰入額を特別損失として計上したことにより、73億49百万円の損失（前年同期は四半期純利益17億79百万円）となりました。

主要なセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (素形材・エネルギー事業)

受注高は、クラッド鋼管で大口案件の受注があったことに加え、電力・原子力製品も増加し、418億19百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

売上高は、電力・原子力製品が増加したほか、クラッド鋼板も増加したことから、341億1百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

営業損益は、売上高の増加に加え、大型プレス部品など新規需要開拓に向けた活動の成果により損失幅が縮小し、営業損失21億63百万円（前年同期は営業損失39億31百万円）となりました。

#### (産業機械事業)

受注高は、圧縮機が減少したものの、自動車向け成形機の増加により、590億30百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

売上高は、前年同期に大口売上があったレーザーアニール装置が減少したものの、樹脂製造・加工機械と成形機の売上が増加したことから、590億53百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

営業利益は、売上製品構成の変化により、60億52百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比56億23百万円増加し、2,987億62百万円となりました。これは主に、風力事業損失引当金計上に伴い繰延税金資産が増加したためであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比128億43百万円増加し、1,667億14百万円となりました。これは主に、風力事業損失引当金計上により流動負債が増加したためであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純損益が73億49百万円の損失となったことにより、前連結会計年度末比72億20百万円減少し、1,320億48百万円となりました。この結果、自己資本比率は43.7%（前連結会計年度末は47.1%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績及び第3四半期以降の事業環境の見通し等を踏まえ、平成26年3月期決算発表時（平成26年5月7日）に公表いたしました平成27年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成26年11月4日）別途公表いたしました「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正、中間配当、期末配当予想の修正ならびに役員報酬減額に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が840百万円増加し、利益剰余金が555百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,329	36,994
受取手形及び売掛金	48,869	52,319
商品及び製品	1,802	1,394
仕掛品	59,477	61,419
原材料及び貯蔵品	4,208	5,089
繰延税金資産	5,374	11,173
その他	5,724	5,941
貸倒引当金	△310	△291
流動資産合計	167,476	174,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,941	45,070
機械装置及び運搬具(純額)	25,553	23,255
その他(純額)	14,177	14,292
有形固定資産合計	85,672	82,618
無形固定資産	855	772
投資その他の資産		
投資有価証券	32,816	35,102
その他	6,891	6,801
貸倒引当金	△572	△573
投資その他の資産合計	39,134	41,330
固定資産合計	125,662	124,721
資産合計	293,139	298,762
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,339	43,153
短期借入金	12,292	12,919
未払法人税等	1,802	1,345
前受金	22,048	18,910
風力事業損失引当金	-	15,594
その他の引当金	4,614	3,698
その他	15,752	16,680
流動負債合計	98,848	112,302
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,095	15,090
引当金	115	100
退職給付に係る負債	10,405	11,007
資産除去債務	1,271	1,283
その他	18,132	16,929
固定負債合計	55,021	54,411
負債合計	153,870	166,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,694	19,694
資本剰余金	5,425	5,425
利益剰余金	110,635	102,048
自己株式	△730	△730
株主資本合計	135,026	126,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,293	5,766
繰延ヘッジ損益	△130	△677
為替換算調整勘定	△96	△183
退職給付に係る調整累計額	△1,042	△861
その他の包括利益累計額合計	3,024	4,044
少数株主持分	1,218	1,566
純資産合計	139,268	132,048
負債純資産合計	293,139	298,762

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	84,482	94,183
売上原価	69,144	76,696
売上総利益	15,337	17,486
販売費及び一般管理費	12,952	13,814
営業利益	2,384	3,672
営業外収益		
受取利息	26	35
受取配当金	337	412
雑収入	720	1,068
営業外収益合計	1,084	1,516
営業外費用		
支払利息	214	131
持分法による投資損失	1	1
雑損失	308	212
営業外費用合計	524	345
経常利益	2,944	4,843
特別利益		
負ののれん発生益	-	218
その他	119	4
特別利益合計	119	222
特別損失		
固定資産除却損	34	73
関係会社事業損失引当金繰入額	-	21
風力事業損失引当金繰入額	-	15,967
その他	2	3
特別損失合計	36	16,065
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,027	△10,999
法人税、住民税及び事業税	1,398	1,933
法人税等調整額	△159	△5,697
法人税等合計	1,239	△3,764
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,788	△7,235
少数株主利益	9	114
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,779	△7,349



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,788	△7,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,075	1,473
繰延ヘッジ損益	348	△546
為替換算調整勘定	249	△90
退職給付に係る調整額	-	181
その他の包括利益合計	4,673	1,017
四半期包括利益	6,462	△6,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,442	△6,329
少数株主に係る四半期包括利益	19	111

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	素形材・ エネルギー事業	産業機械事業	不動産 その他事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	26,098	56,745	1,638	84,482	—	84,482
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,470	715	1,550	3,735	(3,735)	—
計	27,568	57,460	3,188	88,218	(3,735)	84,482
セグメント利益(営業利益)又は セグメント損失(△)(営業損失)	△3,931	6,332	678	3,079	(694)	2,384

(注) セグメント利益の調整額△694百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引にかかる棚卸資産の調整額等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	素形材・ エネルギー事業	産業機械事業	不動産 その他事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	34,101	59,053	1,027	94,183	—	94,183
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,175	598	1,583	5,356	(5,356)	—
計	37,277	59,651	2,611	99,540	(5,356)	94,183
セグメント利益(営業利益)又は セグメント損失(△)(営業損失)	△2,163	6,052	455	4,344	(672)	3,672

(注) セグメント利益の調整額△672百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引にかかる棚卸資産の調整額等が含まれております。

(追加情報)

当社が過去に製造した風力発電機の特定の部品の不具合に起因する損失見込額15,967百万円を、風力事業損失引当金に計上しております。この結果、風力事業損失引当金繰入額15,967百万円を特別損失に計上しております。

## 4. 補足情報

受注高、売上高及び受注残高の状況

## (1) 受注高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)
素形材・エネルギー事業	31,063	41,819
産業機械事業	57,141	59,030
不動産その他事業	1,638	1,017
合計	89,843	101,866

## (2) 売上高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)
素形材・エネルギー事業	26,098	34,101
産業機械事業	56,745	59,053
不動産その他事業	1,638	1,027
合計	84,482	94,183

## (3) 受注残高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)
素形材・エネルギー事業	117,846	110,125
産業機械事業	88,648	96,542
不動産その他事業	732	736
合計	207,227	207,404

1. 平成27年3月中間期連結決算について

(1) 損益実績

(億円)

	H27年3月 中間期	H26年3月 中間期	差 異	前期比
売上高	941	844	97	11%
単 独	743	684	59	—
グループ等	198	160	38	—
営業利益(※)	36	23	13	57%
単 独	19	20	△ 1	—
グループ等	17	3	14	—
経常利益	48	29	19	66%
単 独	39	39	0	—
グループ等	9	△ 10	19	—
特別損益	△ 158	0	△ 158	—
当期純損益	△ 73	17	△ 90	△ 529%
単 独	△ 73	32	△ 105	—
グループ等	0	△ 15	15	—

売上高経常利益率	5.1%	3.4%	1.7%
有利子負債残高	406	504	△ 98
D/Eレシオ	0.31	0.37	△ 0.06
純D/Eレシオ	0.03	0.03	0.00

(注)D/Eレシオの算出方法:有利子負債(リース債務除く)÷純資産

全社の営業利益は前年同期比13億円増益の36億円となった。  
 素形材・エネルギー事業は依然営業赤字ではあるものの受注高・売上高が回復したことで営業赤字縮小に貢献した。  
 産業機械事業は営業利益率10%台を継続して確保したものの前年同期比若干の減益となった。

(2) ※H27年3月中間期連結営業利益の  
 H26年3月中間期比 13億円増加の要因

億円

・生産/売上増減による利益の増減	22
・原材料、部品等の価格UP	△ 3
・燃料・熱エネルギーの価格UP	△ 1
・代価減、コスト改善	△ 18
・為替差益	7
・減価償却費減少、経費等節減	6
合計	13

(3) 連結受注・売上・受注残実績 (但し、輸出は単体を表示)

《受注高》 (億円)

	H27年3月 中間期	H26年3月 中間期	差 異
素形材・エネルギー	418	310	108
産 業 機 械	590	571	19
不 動 産 他	10	16	△ 6
合 計	1,018	898	120
(内、輸出)	(536)	(459)	(77)

《売上高》 (億円)

	H27年3月 中間期	H26年3月 中間期	差 異
素形材・エネルギー	341	260	81
産 業 機 械	590	567	23
不 動 産 他	10	16	△ 6
合 計	941	844	97
(内、輸出)	(430)	(383)	(47)

《受注残高》 (億円)

	H27年3月 中間期	H26年3月 中間期	差 異
素形材・エネルギー	1,101	1,178	△ 77
産 業 機 械	965	886	79
不 動 産 他	7	7	0
合 計	2,074	2,072	2
(内、輸出)	(1,051)	(1,033)	(18)

## 2. 平成27年3月期の連結業績見通しについて

### (1) 損益見通し

(億円)

	H27年3月期 予想	H26年3月期 実績	差異 (予想)	前期比
売上高	2,000	1,887	113	6%
単独	1,565	1,552	13	—
グループ等	435	335	100	—
営業利益(※)	75	88	△ 13	△ 15%
単独	35	68	△ 33	—
グループ等	40	20	20	—
経常利益	85	97	△ 12	△ 12%
単独	57	96	△ 39	—
グループ等	28	1	27	—
特別損益	△ 162	△ 2	△ 160	—
当期純損益	△ 45	55	△ 100	△ 182%
単独	△ 54	66	△ 120	—
グループ等	9	△ 11	20	—

売上高経常利益率	4.3%	5.1%	△ 0.9%
----------	------	------	--------

有利子負債残高	394	400	△ 6
D/Eレシオ	0.30	0.29	0.01
純D/Eレシオ	0.06	△ 0.02	0.08

(注)D/Eレシオの算出方法:有利子負債(リース債務除く)÷純資産

素形材・エネルギー事業の営業利益は若干の改善を見込むが、主力製品の操業減少が継続する。産業機械事業は製品構成の違い及び経費増により売上増も利益は昨年度対比減益。これにより、全社の営業利益は前年対比13億円減益の75億円を予想。

### (2) ※H27年3月期連結営業利益予想の H26年3月期比 13億円減少の要因

億円

・生産/売上増減による利益の増減	19
・原材料、部品等の価格UP	△ 10
・燃料・熱エネルギーの価格UP	△ 6
・代価減、コスト改善	△ 30
・為替差益	13
・減価償却費減少、経費等節減	1
合計	△ 13

### (3) 連結受注・売上予想 (但し、輸出は単体を表示)

#### 《受注高》

(億円)

	H27年3月期 予想	H26年3月期 実績	差異
素形材・エネルギー	740	571	169
産業機械	1,390	1,266	124
不動産他	20	27	△ 7
合計	2,150	1,865	285
(内、輸出)	(1,134)	(846)	(288)

#### 《売上高》

(億円)

	H27年3月期 予想	H26年3月期 実績	差異
素形材・エネルギー	697	676	21
産業機械	1,276	1,183	93
不動産他	25	27	△ 2
合計	2,000	1,887	113
(内、輸出)	(905)	(857)	(48)

### (4) 設備投資計画

(億円)

	H27年3月期 予想	H26年3月期 実績
素形材・エネルギー	32	22
産業機械	48	27
不動産他	1	2
合計	82	52

以上